

③ひょうごの五国を体験するツーリズム

看板や標識を自国言語に翻訳するサービスが普及して体験型観光が主流となる。「日本の縮図」兵庫での産業ツーリズムや医療ツーリズムが人気となって内外から観光客を呼びこみ、交流人口が拡大して、賑わいを生み出している。

2040年の生活シーン

<プロフィール>

- 30代の男性。旅行会社でツアーコンダクターとして働いている。ツアーの添乗で行った先々で美味しい地酒を味わい、すっかりはまって日本酒のソムリエである唼酒師（ききさけし）の資格を取ってしまった。
- 関西三空港の一体的な運用が進み、神戸空港やリニア中央新幹線を使って、世界各国からの観光客が兵庫を訪れている。駅や店舗の表示を多言語に翻訳できる端末の貸出もあちこちで行われており、外国人が不自由を感じることなく観光できる体制が整っている。
- 兵庫の魅力さをさらに体感してもらえよう、私たちも魅力的な旅行商品やコースを企画している。この前は、ツアー参加者に旅館の庭を掃除してもらい、落ち葉で焚き火をして焼き芋を作ってもらったところ、結構好評だった。

<産業ツーリズム>

- 今日は、アジアからの団体ツアー添乗の初日だ。神戸空港にチャーター便で到着したお客様をお迎えし、酒造会社を訪れた。日本酒工場の見学と体験だが、醸造工程を見るのは皆さん初めてで、最新技術を駆使した工程管理と杜氏の技の組み合わせに感心しきり。利き酒体験では、見事に銘柄を言い当てた方が何人もいて、改めて海外での日本酒人気を実感させられた。当地限定の搾りたての生酒の試飲も大受けで、併設の直売ショップで、お土産を大量にお買い求めいただき、酒造会社からも、ぜひまた来てください、と言われた。
- 1日目は無事に終了。就寝前に明日以降のプランについて確認しておこう。

<アグリツーリズム>

- 2日目は、農村部へ農業体験ツアー。日本酒の原料となる山田錦農家を訪問してから、稲刈り体験をさせてもらう。棚田に沈む夕日など、兵庫の美しい農村風景は、外国人にも大評判で、口コミサイトにたくさんの写真が投稿されている。この日の宿泊場所となる温泉旅館には、各国の言語に翻訳できる案内板や看板、タブレットがあり、従業員も小型の自動翻訳機を身につけているので、外国人観光客の受入体制に問題はない。

<医療ツーリズム>

- 3日目は、神戸医療産業都市の病院での健康診断。病院内の案内は、手首につけるバンドが翻訳機になっており、外国人の受入体制も整っている。
- この病院の診断技術は高く、血液一滴からの診断が可能な項目もある。健康診断の結果によっては、必要な治療の手配もその場でできるので、海外ツアー客にも大好評だ。

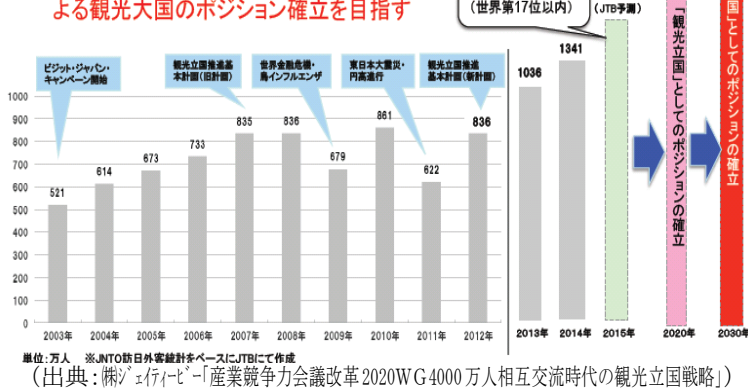
現状や課題

【訪日外国人観光客目標（国）】

<シナリオの方向性>

2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、訪日外国人観光客2,000万人を目指す、それを通過点として更なる拡大を図る。

訪日外国人3,000万人プログラムの実現による観光大国のポジション確立を目指す



見えてきた兆し

【ニューツーリズム】

○食品工場見学（明石市）



(出典：公益社団法人ひょうごツーリズム協会 HP)

○医療ツーリズム



(出典：兵庫県立粒子線医療センターHP)

○漁業体験（香美町）



(出典：公益社団法人ひょうごツーリズム協会 HP)

【多言語音声翻訳技術の活用】

○翻訳アプリ



Speech Translation App

‘VoiceTra4U’

for iOS



(出典：ustar-consortium HP)

【専門家等の意見】

- 人口減少に伴う消費減少をカバーするには、観光交流人口の増大が必要である。
- 旅行ニーズを取り込むためには、「何をするか」「何を体得するか」といった視点が重要である。